資料４

JAPAN SPORT COUNCIL
日本スポーツ振興センター

葛飾区郷土と天文の博物館

令和７年度 企画展





# かつしかとスポーツ
# KATSUSHIKA and SPORTS

2026.2.14(SAT) ▶ 3.22(SUN)







1964年 東京オリンピック
日本代表選手団 開会式用公式服装



秩父宮記念スポーツ博物館蔵





葛飾区 葛飾区郷土と天文の博物館

展示品・会期・開催日・開館時間については変更となる場合がありますので、ご来館前に葛飾区郷土と天文の博物館ウェブサイトでご確認ください。

# かつしかとスポーツ
# KATSUSHIKA and SPORTS

「かつしかとスポーツ」の歴史に関連したこの企画展では、区内各所において近世より盛んだった「草相撲」の歴史をはじめ、昭和39年(1964)の東京オリンピック、令和3年(2021)の東京2020大会、さらに区内を縦断した聖火リレーに関する資料などを展示いたします。あわせて、これらの出来事を当時の人びとの生活の記録と重ね合わせ、「かつしかとスポーツ」が形づくる光景を多面的にお伝えします。

また会場では、秩父宮記念スポーツ博物館所蔵のボールも展示します。サッカーボールの公式球がどのように変遷したのかをご覧いただくとともに、さまざまな競技ボールにさわることができる体験展示もご用意しています。




## 展示構成

**(1)スポーツ前夜～生活の中の運動文化**
近代スポーツ競技が日本に普及する以前の身体運動文化という視点から葛飾区の歴史を探ります。

**(2)スポーツをめぐる風景～運動会から競技スポーツへ**
第二次世界大戦前から今日まで、葛飾区の街並みが大きく変わりました。かつてみられた「スポーツの場」の光景を振り返ります。

**(3)オリンピック開催！～そのとき葛飾のくらしは**
昭和39年(1964)にアジアで初めて開かれた東京オリンピックは葛飾の人々のくらしにも少なからず影響を与えました。華やかな大会の開催の背景にあった当時の葛飾の暮らしを振り返ります。

**(4)『キャプテン翼』とかつしか**
葛飾区出身の漫画家、高橋陽一氏の代表作『キャプテン翼』の刊行と日本のサッカー史を振り返ります。

**(5)サッカーボールはどう変わった？**
サッカーボールのデザインや形状がどう変化したのかを展示します。

**(6)様々な競技のボールをさわってみよう**
いろいろな競技のボールにさわることができます。

**(特別展示)**
**旧国立競技場のトラック**
現在の国立競技場の前の「国立霞ヶ丘競技場陸上競技場」は、昭和32年(1958)に完成し、オリンピックパラリンピックはもちろん、様々なスポーツ大会において親しまれました。
東京オリンピックパラリンピック2020の開催に向けて新国立競技場を建設するために平成26年(2014)に解体された「トラック」の一部が特別に展示されます。

## ご利用案内・アクセス

| | |
|---|---|
| 開館時間 | 午前9時～午後5時<br>(金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで) |
| 休館日 | 月曜日、第2・4火曜日<br>(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌平日休館) |
| 入館料 | 大人 100円　小・中学生 50円<br>幼児無料<br>(毎週土曜日は中学生以下無料。) |
| プラネタリウム観覧料 | 大人 350円　小・中学生 100円<br>幼児(座席を使う場合)50円<br>(毎週土曜日は中学生以下無料。) |
| 年間パスポート | 大人 2,000円　中学生以下 700円<br>購入から1年間、入館料とプラネタリウム観覧料が不要になります。購入時にご希望があれば、「博物館だより」(年3回発行)を1年間お送りします。 |




**電車**
- 京成電鉄「お花茶屋」駅から徒歩8分
- JR常磐線「亀有」駅から徒歩25分

**バス**
1. 京成バス東京(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分
2. 京成バス東京(有57・綾02系統)で「共栄学園」バス停下車 徒歩5分
3. 京成バス東京(綾01系統)で「亀有学び交流館」バス停下車 徒歩7分
4. 京成バス東京(新小52乙系統)または京成バス(新小53系統)で「亀有新道」バス停下車 徒歩11分

※ 最新情報はバス会社のウェブサイトをご覧ください。

〒125-0063
東京都葛飾区白鳥3-25-1
電話 03-3838-1101 FAX 03-5680-0849
WEBサイト https://www.museum.city.katsushika.lg.jp/

この印刷物は、印刷用の紙にリサイクルできます。

この企画展は独立行政法人日本スポーツ振興センターとの共催により開催します。

! 最新情報はウェブサイトをご覧ください。